

# 愛媛県データ連携基盤共同利用ビジョン

## 1. データ連携基盤の現況

- 県内では愛媛県、新居浜市、西条市の3自治体がデータ連携基盤（以下、「基盤」という。）を整備し運用中である。
- 提供しているサービスはそれぞれあるものの、それぞれにサービス拡充、共同利用への取組を進めている。
- いずれの基盤もデジタル庁の「サービス／システムのカタログ」が推奨する技術を採用しつつも、必要に応じて追加のシステム開発を行っている。

## 2. 共同利用に向けた基本的な方向性

- 基盤を必要とする団体が、それぞれの必要性に応じて、整備済の基盤を最大限有効活用し、共同利用する形をつくることを目指す。

## 3. 愛媛県の取組

- 3自治体が整備した基盤については、必要に応じて、それぞれ連携し県内での共同利用を検討する。
- 県域を越えた共同利用について、要望があった際には県が支援を行う。

## 4. 考慮事項

- 共同利用は双方の合意により行うべきものであるが、県も共同利用に向けた協議が円滑に進むよう支援する。
- 本ビジョンは今後の状況変化に合わせて柔軟に見直すものとする。